

産前からの学びを必要と感じている皆さまへ

オンラインセミナー「子育ては学ぶ時代に」①

「産前からの親準備教育」 取組み説明会

参加費
無料

2026

2/27

14:00

(金) ▶ 15:30

アーカイブ配信あり

プログラム

- 「大阪府立高校家庭科授業における産前子育て教育の実践報告」
森岡 満恵（大阪府立伯太高等学校教諭）
- 「産前からの親準備教育のススメ」
柴田俊一（常葉大学教授・臨床心理士）
- 名古屋市での実施事例・陽氣会の取組み
杉江健二（一般社団法人青少年養育支援センター陽氣会代表）

会場：Zoom（右のQRコードからお申し込みください）

定員：先着200名(定員になり次第募集終了) 参加費：無料

申込

QR→



青少年養育支援センター
陽氣会

主催：一般社団法人青少年養育支援センター陽氣会



052-751-4055



info@youkikai.net

HP→



後援：こども家庭庁・三重県・愛媛県・名古屋市

～子育ては学ぶ時代に～



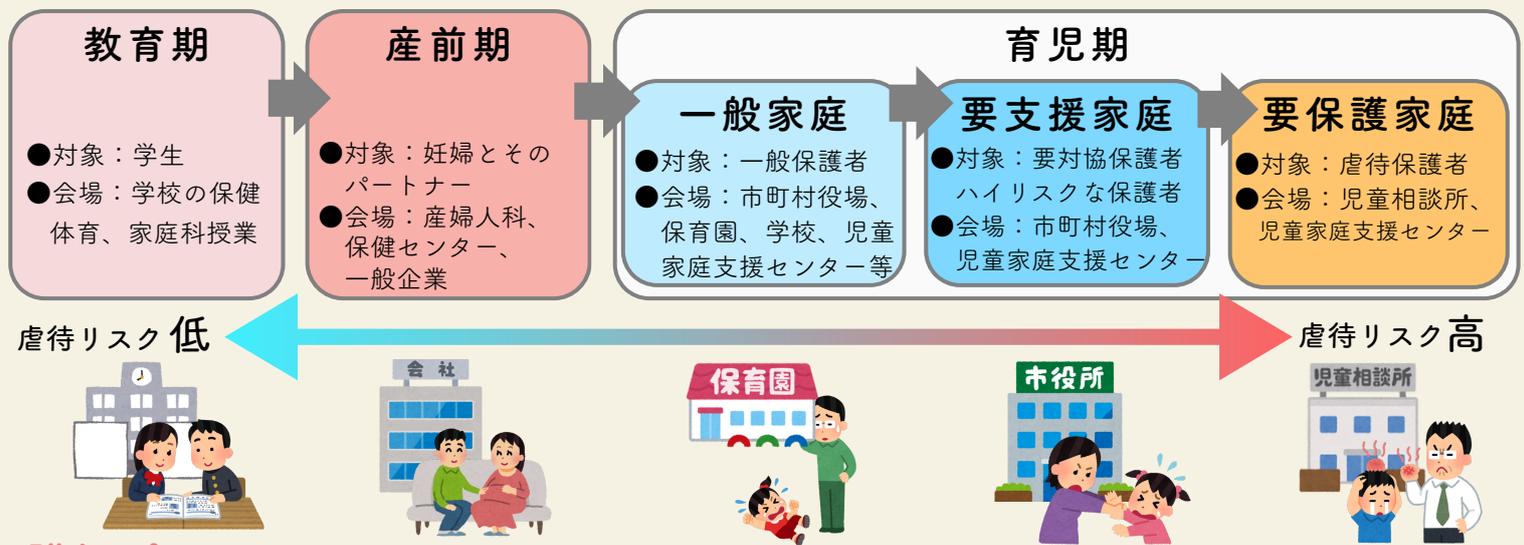
産前からの親準備教育の必要性

2023年の法改正により、常時雇用する従業員数が1,000人を超える企業には、育児休業の取得状況（男性の育児休業の取得率など）を年1回以上公表することが義務付けられました。これにより、大手企業を中心に育児休業制度の活用が徐々に普及しつつあります。しかし、生まれてくる小さな命に親としてどのように関わっていけば良いのか、そして、子どもが成長していく中で、親としてどのように「しつけ」を行っていけば良いのか、事前に学ぶ機会はほとんどありません。その結果、十分な準備がないまま親となり、相談先や支えを得られず、孤立した子育て（孤育て）に陥っている親が増えています。こうした状況の中、少子化が進む一方で、児童虐待をはじめとする不適切な養育が増加していることが大きな社会課題となっています。

本セミナーでは、親になる前の準備教育をテーマに、学校教育における産前からの子育て支援を実践してきた講師、また長年にわたり産前子育て教育の大切さを訴え、各地域で「親準備教育」の講座を開催してきた講師をお迎えし、その効果や課題、今後の解決策についてお話しいたします。

包括的子育て学び支援事業

今、子育てを学ぶ時代が来ています。当会では、児童虐待防止の観点から「包括的子育て学び支援事業」を展開しています。本事業は、「教育期」から「育児期」まで、切れ目なく子育てを学ぶ機会を提供し、児童虐待の防止を目指す事業です。「教育期・産前期」を親準備期間と捉え、将来の子育てに対する不安を軽減し、虐待を「しない」子育てを身につけるよう、子育てを学ぶ機会を提供します。「育児期」の子育てに困難を抱える家庭には、具体的な知識やしつけの方法を伝えることで、不適切な養育を未然に防いだり、虐待が発生した家庭では、再発防止を目指します。どのタイミングでも子育てを学ぶことができる環境を整え、児童虐待の本質的な解決を目指す点が、本事業の大きな特徴です。



講師プロフィール

森岡 満恵

大阪府立伯太高等学校教諭

大阪府立高校の家庭科教員として、長年にわたり高校生を対象に子ども虐待予防の観点から親準備教育を実践。

<主な著書> 『思春期からの子ども虐待予防教育—保健・福祉・教育専門職が教える親になる前に知っておいてほしいこと』（明石書店）、『100分からはじめる子ども虐待予防教育』（共著 認定NPO法人日本児童虐待防止協会）

柴田 俊一

常葉大学教授・臨床心理士

自身が開発した「親なる講座」を全国で展開しながら、専門家として親準備教育の必要性を「日本子ども虐待防止学会」等で長年にわたり提唱。

<主な著書> 「産前からの親準備教育のススメ」（明石書店）、「自分さがしの心理学」（ナカニシ出版）

杉江 健二

一般社団法人 青少年養育支援センター陽氣会代表理事

名古屋市を中心に児童虐待防止の為に保護者支援事業に取り組む。児童虐待の発生防止には、産前からの子育ての学びの必要性を痛感。「産前子育て教室の制度化に向けた署名活動」を展開、全国から4万筆を超える署名を集め、こども家庭庁に提出。

<主な著書> 「イライラしない子育て」（さくら書店）